



〒364-0003 北本市古市場 1-36
TEL/FAX 048-591-5762
携帯 090-8848-8465
Email tatsumi3@gmail.com
URL <http://www.7b.biglobe.ne.jp/~oshimatatsumi/>



人にやさしく、暮らしやすいまち

安心・安全なまちづくり

財政の健全化

行政改革の推進

1965年北本生まれ。

北本市立中丸小学校、北本市立東中学校、埼玉県立不動岡高等学校、東洋大学経済学部卒業。

三国コカ・コーラボトリング(現コカ・コーラボトラーズジャパン)入社。その後、経営コンサルティング会社、投資顧問会社勤務。衆議院議員公設秘書を経て2011年より北本市議会議員。現在3期目。

令和3年第1回定例会についてご報告します。

令和3年度会計別予算総括表

(単位:千円、%)

区	分	令和3年度	令和2年度	比較	増減率
一	般 会 計	21,492,000	20,439,000	1,053,000	5.2
特別会計	後期高齢者医療特別会計	967,500	962,000	5,500	0.6
	久保特定土地区画整理事業特別会計	510,100	411,700	98,400	23.9
	国民健康保険特別会計	6,574,200	6,665,800	△91,600	△1.4
	介護保険特別会計	5,392,500	5,253,200	139,300	2.7
	埼玉県央広域公平委員会特別会計	535	468	67	14.3
	小 計	13,444,835	13,293,168	151,667	1.1
企業会計	公 共 下 水 道 事 業 会 計	1,725,737	1,834,652	△108,915	△5.9
	総 計	36,662,572	35,566,820	1,095,752	3.1

一般会計予算について

令和3年度の一般会計歳入歳出予算の総額は214億9,200万円となり、令和2年度と比較して10億5,300万円の増、増減率では5.2%の増となりました。

そのうち久保・デーノタメ共存調整等事業(600万円)、上尾道路周辺調査事業(400万円)、文化財保存活用地域計画策定事業(382万2千円)の3事業については、削除する修正案が提出され可決されました。

新ごみ処理施設について

一般廃棄物処理施設調査委託事業として700万円が計上されました。これは、令和2年第4回定例会において議会から提出された「新ごみ処理施設の整備に当たり慎重かつ丁寧な対応を求め

る決議」を受けてのものとなります。

具体的には、一般廃棄物処理施設を整備するに当たり、北本市に適した施設や処理方法等について検討するため、様々なケースにおける財政負担、環境負荷、市民の分別負担等についての調査を行うもので、新たな枠組みの中で施設整備内容を検討していく上で参考資料となります。

市制施行50周年記念事業について

北本市は、昭和46年に県下33番目の市として誕生し、令和3年11月に市制施行50周年を迎えます。それに伴い、市政施行50周年記念事業が予算計上されました。主なものは、市政施行50周年記念式典事業(295万9千円)、市勢要覧発行事業(400万円)など全14事業(うち4事業は市民提案)、2,074万円となります。

大島たつみの一般質問より（抜粋）

キャッシュレス型消費活性化事業について

（問）最大 30%戻ってくるキャンペーンの実績は。

（答）令和2年12月の1か月間で実施し、地域経済の活性化を図りました。参加店舗数 338 店舗、プレミアム分で約 2,529 万円の利用があり、執行率は約 93.6%でした。

（問）この事業の目的である、キャッシュレス化の促進は図れたのか。キャッシュレス対応の店舗は増えたのか。

（答）本事業参加店舗については、実施前の 253 店舗から 85 店舗増えています。また、アンケートの回答結果では、キャッシュレス決済の比率が大きく上昇しているということから、市内のキャッシュレス決済の促進が図られたものと考えています。

キャッシュレス型としては、まずまずの結果だったと思います。現在、クーポン型の消費活性化事業を実施していますが、今後は両者をうまく組み合わせた事業の実施が望まれます。

乳幼児健診と育児相談について

（問）令和2年度の実施状況、受診、相談の件数は。

（答）2月末時点で4か月児健康診査 98.6%、1歳6か月児健康診査 93.3%、3歳児健康診査は 83.9%です。前年度と比較しますと、4か月児健康診査は同率ですが、1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査はやや低い状況となっています。

（問）新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として、どのような取組をしたのか。

（答）集団健康診査等を安心・安全に実施するため、乳幼児健康診査感染対策マニュアルを作成しスタッフに感染対策の周知徹底を図りました。さらに、検温のためのA Iサー

マルカメラや非接触型医療用体温計を設置し、密を避けるためのワンタッチコールを購入しました。

乳幼児健診は、本来の目的の他にも乳幼児虐待の防止、早期発見にもつながるものですから、これからも受診率の向上に努めていただきたいものです。

震災応急対策について

（問）2月13日午後11時頃、震度4の地震が発生したが、どのように活動組織を整え、どのような活動を行ったのか。

（答）地震発生直後から、地方自治体向けチャットアプリによりくらし安全課防災担当職員と連絡を取り合い、すぐに参集可能な担当職員2名により情報収集に当たりました。

（問）勤務時間外及び休日の動員について、どのように対応しているのか。

（答）地震はいつ発生するか分かりませんので、職員がすぐに参集できないことも想定されます。参集対象となっている職員のうち、参集可能な職員だけの対応が難しい場合は、参集範囲を広げ、人員を確保していくこととなります。

台風であれば、あらかじめ接近することを想定できますが、地震はいつ発生するか予測ができませんので、その対応は大変なことだと思います。これからも市民の安心・安全のために業務に邁進していただきたいと思います。



一般質問の録画配信は、こちらからご覧いただけます。

【あとがき】

次回の令和3年第2回定例会は、5月31日(月)から6月21日(月)の予定です。

今後も皆様のご意見・ご相談などお寄せいただけましたら幸いです。

